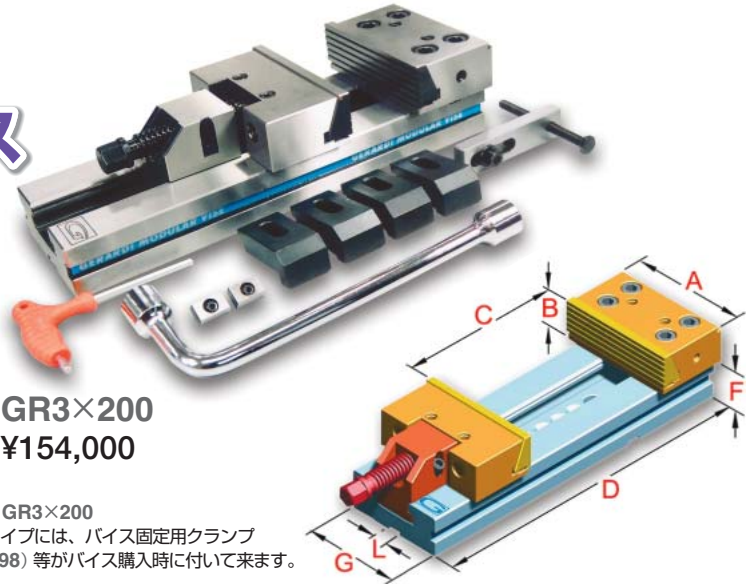


ジェラルディ 標準タイプ 精密モジュラーマシンバイス

- ジェラルディの精密バイスは、すべて0.02mm以内の高い精度のコンポーネントによる、スチール製モジュラーバイスです。
- 品質と価格のバランスがとれた製品であるため、高性能なバイスがお手頃な価格で入手できます。
- バイス口金のプルダウン機構により、ワークの浮き上がりを防止します。



型番：GR3×200
価格：¥154,000

写真はGR3×200
標準タイプには、バイス固定用クランプ
(GR298) 等がバイス購入時に付いて来ます。

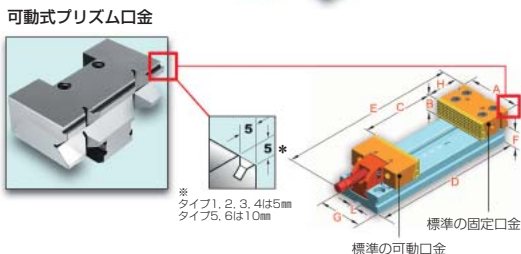
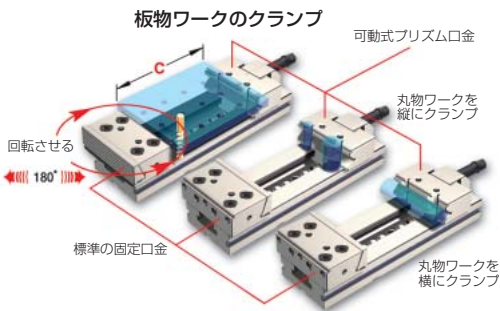
型番	バイスタイプ	口金幅			全高	ワーク取付面高さ	ベース幅	ベース全長	溝幅	最大推奨締付け力 (kN)	質量 (kg)	価格
		A	B	C								
GR1×100	1	100	30	100	65	35	75	270	16	16	6.8	¥124,000
GR2×150	2	125	40	150	80	40	95	345	16	25	12.9	¥132,000
GR3×200	3	150	50	200	100	50	125	420	16	30	25.5	¥154,000
GR3×300	3	150	50	300	100	50	125	520	16	30	29	¥169,000
GR4×300	4	175	60	300	118	58	145	555	16	30	42	¥215,000
GR4×400	4	175	60	400	118	58	145	655	16	30	47	¥240,000
GR5×300	5	200	65	300	135	70	170	595	16	40	69	¥298,000

※上の型番でご注文の場合、写真にあるボックススレンチ、Tレンチ、キーナット(16-18mm)、固定用クランプ(4ヶ)等のアクセサリが標準で付いています。

すべてのジェラルディのバイス及び部品はモジュラータイプであり、すべてのモジュラー部品に互換性・整合性があります。統合化されたサイズのモジュラーパーツを組み合わせているため、高精度を維持し、段取り時間も最短に抑えることが出来ます。特にベース高さ、固定口金に対する長方形のキーナットの整合性、バイスのベースに対する固定口金の垂直度、ベースの上表面と下表面との平行度などの高精度により、このようなことが可能となっています。以上の特徴のおかげで、複数のバイスを同時に並列使用する際に生じる、面倒な問題も瞬時に解決します。

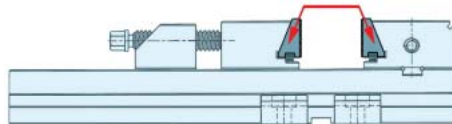
多機能性

固定口金の反対側(180°回転させて使用)には、5×5mmの段差を設けているため、可動式プリズム口金(型番:GR217、別売)と合わせて使用すると、板物のワークや丸物ワークを縦方向と横方向に取り付けることができます。他の部品と組み合わせて、垂直取付や多連バイスとしても限りなく幅広い用途に使用できます。



バイス口金の自動プルダウン機構

両側の口金プレートは、プルダウンアングルを付けて製造されています。クランピング作業中に、この構造によってワークがバイス面に引き寄せられ、精密で安全性の高いクランプができます。



口金のプルダウン機構を利用するためには、バイスを使用する前に、口金の裏側よりボルトねじ (GR381及びGR382) を1/4回転、緩める必要があります。このボルトを緩めることにより、バイスを締める動作と同時に口金が上から下へと移動するので、ワークは自然にバイスペースに平行に押さえつけられることになります。

コンパクトで軽量の設計

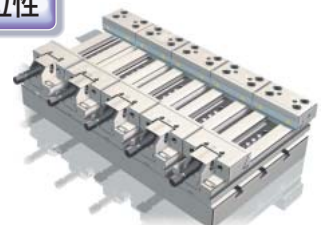
コンパクトで堅牢な構造により、バイスのサイズに対して最大の把握力を発揮します。更に、150mmの口金幅(200mm開き)でも25kgと軽量なので、機械から機械へと移動させるのも容易です。

摩耗しない材料

ジェラルディ社の長年の経験から、バイス部品の構造上最も相応しい材質のみを選び出し、HRC60±2まで浸炭焼入れされた高品質の高合金耐摩耗鋼だけをジェラルディ社のバイス及び部品の製造用として使用しているため、最高度の剛性、性能を達成しており、摩耗しません。

標準バイス=多連バイスであることの圧倒的優位性

部品ごとに精度管理されたモジュラー部品を組み合わせたバイスであるため、シングルで使用したバイスに複数の同型のバイスを追加購入して、そのまま並列バイスとして使用できます。数多く使用することによって、益々メリットが増していきます。



ピンク色の型番表示はノガ・ウォーターズ在庫品です。

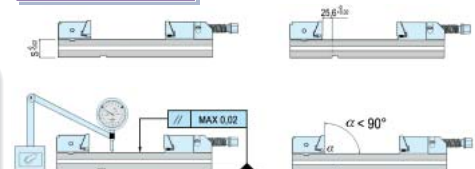
バイスの締付力についてのアドバイス

トルクレンチを使用してメカ式クランピングの場合

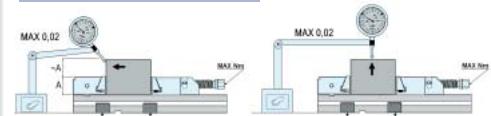
下図は、ジェラルディ精密モジュラーバイスの各タイプに対して、レンチを使用した場合の締付力を表示しています。潤滑油の使用状況、マシンテーブルへのクランピング方法等の違いによって±10%程度の差異が生じる場合もありますが、適正な使用のために、下図の値を越えないようご注意ください。

《ジェラルディ標準モジュラーバイスの寸法精度》

バイス本体の精度



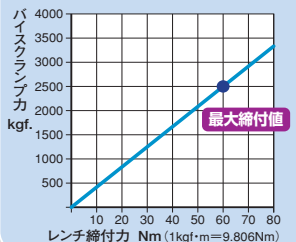
ワーク・クランプ時の精度



GR296を2組使用してクランプした場合

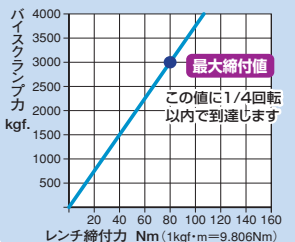
モジュラーバイス タイプ2

ねじサイズφ18mm、ピッチ4mm



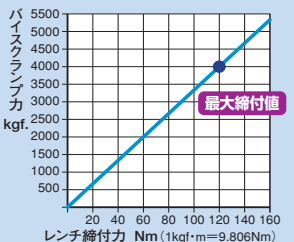
モジュラーバイス タイプ3・4

ねじサイズφ24mm、ピッチ4.5mm



モジュラーバイス タイプ5・6

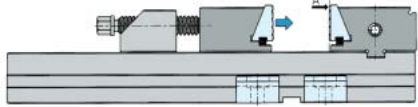
ねじサイズφ30mm、ピッチ5mm



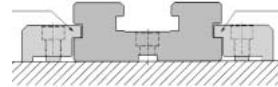
バイス締め付け力に応じて生じるA点における反りの値

バイスタイプ3のケース

6000 kg	0.1 mm
5000 kg	0.07 mm
4000 kg	0.05 mm
3000 kg	0.03 mm
2000 kg	0.02 mm
1000 kg	0.01 mm
500 kg	0.004 mm
200 kg	0.002 mm



※ 上図のようにボルトのみで機械テーブルに強く締め込むと、X幅にゆがみが生じ、口金が滑りにくくなりますのでこの方法はお奨めできません。



※ 上図のように両側からクランプ締めするのが正しい方法です。

バイスタイプ	レンチ締付力	クランプ力
タイプ1	30Nm	500kg
タイプ2	40Nm	1000kg
タイプ3	60Nm	2000kg
タイプ4	60Nm	2000kg
タイプ5	80Nm	2500kg
タイプ6	80Nm	2500kg

1kgf.m=9.806Nm

ピンク色の型番表示はノガ・ウォーターズ在庫品です。